

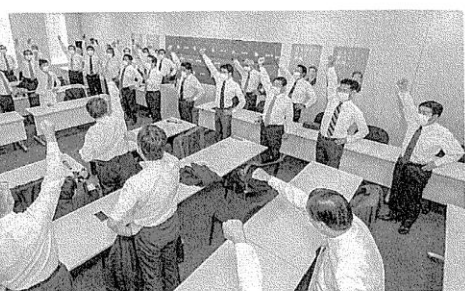
衆院解散 総選挙へ

19日公示、31日投票

コロナ克服、再生果たす 公明に国民の声を実現する力

衆院は14日午後の本会議で解散された。これを受け政府臨時閣議を開き、第49回衆院選の日程を19日(火)公示、31日(日)投票と決定。公明党は解散後、衆院第2議員会館で衆院選の準備を進め、衆院選勝利に向けて議員が総起して戦い抜くと誓い合い、事実上の「選挙戦」へ臨んだ。この後、山形県・男代は都内で街頭演説を行い、「2回の選挙は、コロナ克服・

日本再生選挙」だ。国民が苦政を憂いて実行できるのは、公明連立政権しかない。そして「小さな声」を実現できる公明党が政権の中核にいることが大切だと力強く「第一声」を放った。その上で「公明党は小選挙区9人勝と比例区80万票の獲得をめざす」と強調。経済対策を断行し、日本再生を果たし抜くと決意を訴えた。



山口代表を中心に衆院選勝利へ総決起を誓い合った党院内議員総会＝14日 衆院第2議員会館

山口代表ら力強く「第一声」

東京・有楽町での街頭演説の実施のほか、幼児教育・多くの政策を実現してきた。公明連立政権の中で、山口代表は、衆院選の意義について「コロナ禍で備えた社会や経済をどう立て直していくのか。それをこの政権、政党や政治家に委ねるのかを判断した。ただ、公明党は必ず皆さまの期待に応える。日本再生へ新たな挑戦を開始する公明党を勝たせていただきたい」と絶大な支援を呼び掛けた。

コロナ禍の脱に向けては、あらゆる手を尽くしていくと表明。今後懸念

自公連立で安定の政治

その上で、自民、公明両党で結んだ連立政権(急意に

触れ、急意に盛り込まれた10項目の柱からなる政策目標の実現に全力を挙げて取り組む方針。「政権の枠組みをしっかりと国民に示し政権を選択していただく」と強調した。

公明党が政権の中で果たしてきた役割については、党の持ち味であるネットワーキングの力と「小さな声を聴く力」を生かし、軽減税率

「日本の少子高齢化と全米競争力から、このように政党が内外協力に言っても、極めて安定感のない政権しかない」と批判した。

街頭演説には、高木陽介国会対策委員長(衆院選予定候補)、比例代表都プロン(と)、河西宏一党青年局長(同)が出席し、衆院選勝利へ決意を述べた。



公明党への絶大な支援を訴える山口代表(中央)と高木(右隣)、河西(左から2人目)の陣氏ら＝14日 東京・有楽町